

抗議文

2024 年 5 月 24 日

在日アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ラーム・エマニュエル 閣下

苫小牧市長 岩 倉 博 文

この度、貴国が 2024 年 5 月 14 日に臨界前核実験を実施したとの報道がありました。

当市は、核兵器のない平和の実現に努力していくことを決意し、2002 年に「苫小牧市非核平和都市条例」を施行しており、同条例では、核兵器の実験等に対する反対の意思を表明しています。

ロシアによるウクライナ侵攻や中東における軍事衝突など、国際情勢が緊迫化している中で判明した臨界前核実験の実施は、唯一の被爆国として世界平和を願う私どもにとりまして極めて遺憾であり、市民を代表して貴国に対し強く抗議の意を表します。

貴国が核兵器の保有や新たな核兵器の開発へつながる核実験を中止し、核兵器廃絶に向け主導的役割を果たすよう強く要請いたしますので、本国政府へ伝達されるようお願いいたします。